

2015 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名[北九州市立泉台小学校] 担当教諭名[長畑育子・小嶋和美] (6年1・2組 59名)

交流相手国[ジャマイカ]

海外学校名[Servite Primary School] 担当教諭名[Sophia Campbell Jackson / 佐藤 司麻(JICA)]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	英語	自己紹介をしよう	4
	総合的な学習の時間	ジャマイカについて知ろう	10
	図工	和紙で手作りうちわを作ろう	3

■作品について教えてください。

題（テーマ）	私たちのすてきな町のよいところ		
絵に込めたメッセージ	共同学習として、自分たちのまちの自慢できる人・もの・こと、人や特産物、自然の美しさを伝え合った。日本には、四季折々の風景があるので、ジャマイカの友達にそれを伝えたいと考え、桜や紅葉、雪景色などを意識して描き、その美しさを伝えた。		
 日本での半分の作品  子供たちの制作風景  できあがった共同作品			

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
子供たちが、遠く離れた国の子供たちの笑顔に出会い、未知の国だったジャマイカに親しみをもち、共同で、何かを成し遂げるという貴重な体験が出来たことが成果だった。	フォーラムや情報の交換、教師の英語力など、いろいろな面で困難があった。 本部の方は親切に指導して下さいましたが、会話に出てくる用語一つわからず、本当にどうしたらいいのか戸惑い、途方に暮れた。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
今まで、自分たちの持っていた意識の範囲が、自分の身の回り、自分のまちなど、自分の暮らしている範囲内であったが、この機会を通して、視野が世界へと向けられ、大幅に広がっていく様子が見られた。「ジャマイカって素敵な国なんだね。」「ほかの国のよさも知りたいな。」という声が聞かれた。	自分たちが、インターネット環境をいかに使いこなせていないのかが、よくわかった。もっと、機器を使いこなして、グローバルな教育が出来るようになりたい。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活 動 内 容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	1学期 9月	・外国の子供たちとつながる方法を考え、話し合う。 ・ビデオレターを送ったり、より喜んでもらえるよう、プレゼントも用意しようという声が上がった。	・日本のよさを伝え、ジャマイカのみんなが喜んでくれるものを、真剣に話し合った。「暑い国だから、少しでも涼しくなってもらいたい。」とうちわ作りに取り組んだ	総合2 英語2 図工3
テーマ学習	10月	・グループに分かれ、ジャマイカについて調べ、互いに発表した。	・まず、「ボルト」の国であることを発見。そのほかにも「クールランニング」などの映画を思い出す子もいて、それが初めて「ジャマイカ」という国と意識がつながっていった。	総合10
構図決定	11月	・共同制作に向け、どんなものを書きたいか、アンケートをとって、一人一人の意見を吸い上げ、学年全員で話し合った。	・ジャマイカにはない「日本の四季」を是非伝え、自然の豊かさを教え、日本のよさを知ってもらいたいという意見が多くでた。	総合2
壁画制作	12月	・地元のイラストレーターの方を学校にゲストティーチャーとして招き、子供たちと話し合い、子供たちの思いを吸い上げてもらいながら、下絵を構成した。	・学年59名全員を、春夏秋冬それぞれの場面の担当に振り分け、各自が朝、休み時間、放課後など空いた時間を使い、少しずつ丁寧に塗り上げていった。教職員も進んで彩色に参加した。	総合10
鑑賞・振り返り	3月	・終了式間近に絵が届いたので、終了式の終わりに、全校生徒の前で、今回の取り組みのことや、ジャマイカの国について報告をした。	・自分たちの調べたジャマイカの国の事を伝えたり、全校児童に見てもらったりできた事を、とてもよろこんでいた。	総合1

■学習目標(つきたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入（A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった）

「成果」先生の手応え（5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった）

学習目標・つきたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	自分たちの町のよさ、日本のよさを改めて見つめ直し、自分たちの地域を誇りに思う気持ちを高めることができた。
異文化の理解	A	4	スポーツや特産物、食生活、自然など、日本とは違う文化にふれ、視野を広げることができた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	2	今回はスカイプが使えない、頻繁に情報が送れないなど、教師側の都合で交流を十分深めることができなかった。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	3	インターネットなどを活用し、今まで未知の国だったジャマイカについて、より深く知ることができた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	3	「ジャマイカの友達に喜んでもらうため」「日本のよさ」を伝えるための話し合いを、学年全員で真剣に取り組む事ができた。
協働する力 (役割分担・協力)	B	3	それぞれが、彩色する場面を決め、互いにアドバイスをしながら、作品作りを進めることができた。
学習を追究する意欲	B	3	ジャマイカという国に興味を持って、今までよりも知識を広げる事ができた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	B	2	下絵の段階で、どうすれば、自分たちの伝えたいものが伝えられるのか、苦慮していた。
作品を鑑賞する力	B	4	色彩の違い、構図の違いなどから、互いの文化の違いやよさを感じ取ることができた。